



令和3年(2021年)第4週 2021年1月25日(月)~2021年1月31日(日)

熊本市 感染症発生動向調査 速報



●水痘(みずぼうそう)が増加しています!!

水痘(みずぼうそう)と突発性発疹が急増、RSウイルスも増加していて注意が必要です。水痘は、水痘-帯状疱疹ウイルスによる感染症で「みずぼうそう」として知られている病気です。9歳以下に多く、年中みられますが、12月~7月に多い傾向があるため、これからも注意が必要です。



◆どんな病気?

- ・**症状**……全身性のかゆみを伴う発疹と、38℃前後の発熱が主な症状です。発疹は、まず赤い斑点ができ(紅斑)、次第に盛り上がり(丘疹)、水ぶくれになり(水疱)、かさぶた(痂皮)になります。これらの紅斑、丘疹、水疱、痂皮のそれぞれの段階の発疹が混在しているのが特徴です。通常、軽症で終生免疫を得ることが多いですが、ウイルスは治ったあとも体の中に潜伏していて、後に「帯状疱疹」として再発することがあります。
- ・**潜伏期間**……2週間程度(10~21日)
- ・**感染経路**……**空気感染**、飛沫感染、接触感染。すべての発疹がかさぶたになるまで感染力があります。また、感染力も強く、1人が何人に感染させるかを示す数値(基本再生産数Ro)では、インフルエンザが「(Ro) 1-2」に対し、水痘は「(Ro) 8-10」と、インフルエンザの約5倍の感染力があります。

◆かかったらどうすればいいの?

- ・治療は塗り薬が中心になります。重症の場合もしくは重症化の防止として、抗ウイルス剤を使用することもあります。
- ・熱が高いときは特に、水分をしっかりとらせ脱水にならないように気をつけましょう。発疹が出たあとも高熱が続いたり、ぐったりしているときは早めに医療機関を受診しましょう。
- ・水痘は、学校保健安全法により第二種の感染症に指定されており、登校基準は原則としては、すべての発疹が痂皮(かさぶた)化するまで出席停止とされています。(病状により、医師が感染のおそれがないと認めたときを除く)

◆予防法は?

- ・予防接種が有効です。2014(平成26)年10月1日から、水痘ワクチンが定期接種となりました。



期 間		2021年 3週		2021年 4週	
		1/18~1/24		1/25~1/31 (最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症	注意!!	22	1.38	34	2.13
咽頭結膜熱(プール熱)		5	0.31	1	0.06
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		13	0.81	8	0.50
感染性胃腸炎	注意!!!	73	4.56	53	3.31
水痘(みずぼうそう)	!	0	0.00	10	0.63
手足口病		9	0.56	3	0.19
伝染性紅斑(りんご病)		0	0.00	0	0.00
突発性発しん	!	8	0.50	20	1.25
ヘルパンギーナ		0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		0	0.00	1	0.06
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		6	1.20	4	0.80
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		1	0.20	0	0.00
マイコプラズマ肺炎		0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	1	0.20